



平成 17 年 9 月 27 日

各 位

会 社 名 コスモ・バイオ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 原田正憲
(コード番号：3386)
問 合 せ 先 常務取締役総務部長 柴沼篤夫
(TEL. 03-5632-9600)

平成 17 年 12 月期の業績見通しについて

平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

【通期】

(単位：百万円・%)

項 目	平成 17 年 12 月期 (計画)		平成 16 年 12 月期 (実績)	
		構成比	前期比	構成比
売 上 高	5,333	100.0	107.3	4,970 100.0
経 常 利 益	766	14.4	104.1	736 14.8
当 期 純 利 益	446	8.4	104.9	425 8.6
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	15,534 円 84 銭		71,015 円 52 銭 (17,753 円 88 銭)	
1 株 当 たり 配 当 額	3,000 円		旧株 5,000 円 (1,250 円) 新株 233 円 (58 円)	

- (注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成 16 年 12 月期の 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成 17 年 12 月期の 1 株当たり当期純利益は公募株式数を含めた予定期末発行済株式数 28,724 株により算出しております。
3. 平成 17 年 5 月 2 日付けをもって、1:4 の株式分割を行っております。株式分割による影響を加味し、遡及修正を行なった場合の 1 株当たりの数値を () 内に記載しております。
4. 1 株当たり配当額の平成 16 年 12 月期における新株とは、平成 16 年 12 月 15 日付の第三者割当増資により発行した株式をいいます。

【平成 17 年 12 月期業績見通しの前提条件】

【売上高】

平成 17 年 12 月期においては、大学の独立行政法人化の影響はほぼなくなるものの、総じて引き締め気味の予算執行になると見ております。

当社では 3 ヶ年の中期経営計画の初年度であり、新たな事業拡大の土台作りを始めます。これは仕入先・新規先端商品の導入強化、輸出販売の強化、自社ブランド商品の拡大等によりバイオ研究支援という当社の事業をさらに充実させることを考えております。

当社売上の大半を占める研究用試薬については、業界トップクラスの品揃えの汎用試薬・抗体が堅調に伸びると見込んでおります。またキット類を中心とした応用・その他の試薬が引き続き堅調と見ております。これらの試薬の伸びの背景には、シグナル伝達関連、細胞表面・細胞接着関連、再生・培養関連の研究が広がる潮流があります。また様々な販売促進や平成 16 年に稼動した在庫管理システムに基づく在庫戦略がすでに効果を現しており、試薬では汎用試薬・抗体が 2,400 百万円、応用試薬・その他が 1,315 百万円、その他の試薬を総合して 4,785 百万円（前期比 107.9%）を見込んでおります。

機器につきましては、電気泳動装置は低迷が続くものの、主力の超音波細胞破碎装置は国内・輸出双方で好調さが充分見込まれ、トータルでは前期比 109.9%の 341 百万円と見ております。

臨床検査薬につきましては、新規の品目を導入することは想定しておらず、現状の商材を想定して、緩やかに減少して 207 百万円（前期比 91.1%）を見込んでおります。

【売上総利益】

売上総利益につきましては、当社仕入の大半は輸入品であるため、為替の影響を受けます。当社では平成 17 年 12 月期は 110 円/ドルと想定しており、仕入原価は徐々に膨らむこと及び競合の激化により価格競争が厳しくなること等を考慮し、売上総利益率は、平成 16 年 12 月期実績の 45.6%から平成 17 年 12 月期には 45.2%を見込んでおります。

【販売費及び一般管理費】

当社では販売費及び一般管理費において、総じて事業の拡大に応じた必要増を想定しております。

人件費につきましては、将来のコアとなる新人と必要に応じた即戦力の派遣社員の双方を活用し、前期比 78 百万円増の 873 百万円を見込んでおります。広告宣伝費につきましては、顧客への情報発信はさらに重要性を増すため、前期比 25 百万円増の 178 百万円を見込んでおります。

これらを総合して販売費及び一般管理費は、前期比 108.5%の 1,605 百万円を見込んでおります。

【営業外損益及び経常利益、当期純利益】

営業外損益につきましても、従来同様の推移を前提としており、棚卸資産廃却損や IPO 関連費用等を見込んで、営業外費用 78 百万円を見込んでおります。

以上の諸点から、経常利益は前期比 104.1%の 766 百万円を見込んでおります。

特別損益については、現状発生する見込みは少なく、当期純利益は前期比 104.9%の 446 百万円を見込んでおります。

以上